



# 中学部活動向け野球教室事業 今夏本格稼働

## バッティングアスリートの挑戦

野球関連事業を展開するBATTING ATHLETE (バッティングアスリート) が今春立ち上げた、中学部活動向け野球教室事業が本格的に動き出した。他企業に先んじて、三井不動産レジデンシャル東北支店が同事業をスポンサード、同社提供の第1回が8月9日、仙台市立五橋中野球部を対象に実施された。

撮影◎松田純二郎 文◎平川元

学校側に経費負担を求めないことが同事業の大きな特徴だ。バッティングアスリートの同事業責任者、仲山一也さんは「公立中学校での部活動の地域移行の問題があり、これはつまり子どもたちに誰が教えるのか、という指導者問題になります。こういう事態にあって、野球をやりたいけどやれる環境がない、という中学生をつくらないことが何より大事だと考えました」と立ち上げの背景について語る。



8月9日の教室では打撃を中心に指導を受けた



松井宏次コーチの説明に真剣に耳を傾ける選手たち

学校側には、バッティングアスリートは、地域の経済社会の発展に寄与することを目的に1947年に設立された仙台経済同友会と連携。同会は各会員、さらには仙台市に拠を置く企業まで広く同事業への賛同を呼びかけている。なお、三井不動産レジデンシャル東北支店は今年度中に計6回の野球教室の提供を予定する。

この野球教室でコーチを務めるのはプロ野球や社会人野球などの一線活躍してきた元選手。今回指導を受けた五橋中野球部の舟山広介監督も「とてもいい取り組みだと思います。プロ野球など、より高いステージで活躍した経験のあるコーチから指導を受けることは、子どもたちにとって大いに刺激になります」と実施を喜ぶ。

「協力しようという結論になりました」と提供に至った経緯を説明する。また、小柴副支店長は「弊社としては仙台市内でマンションを数十年、供給してきています。仙台市の皆さまにお世話になっており、何か恩返しをと考えていました。そこへとてもいい提案を受けましたので、二つ返事でお受けしました」とも話した。